

經營理念

希望

敬愛

報謝

北本廣吉 筆

平成七年度方針
無駄を無くして
大きく積り
羽ばたく年へ

理事長 北本 廣志

平成7年基本理念

無駄を無くして大きく積り羽ばたく年へ

無駄の意図するところは時間です。

皆へ平等に与えられた時間を有効に活用いただきたい。

「光陰矢のごとし」「タイム・イズ・マネー（マネーは金ではなく大切なものの意）」のように失っては帰ってこない大切なもの。だからこそ有効に活用し羽ばたく基礎となす。

平成八年理念
真摯振舞

北伸福社会
理事長 北本 廣志

平成8年基本理念

真摯振舞

お客さまあつての私たちの生活です。

社会福祉法人としての使命を実感し、公的立場に自分が存在する事を考えれば、決して忘れてはならない真摯な心とその態度を現すること。

平成九年度理念
フレッシュな発想を

社会福祉法人北伸福社会
理事長 北本 廣志

平成9年基本理念

フレッシュな発想を

前に突き進む若き力に大いに期待したい。また、発想を発想で終わらせるのではなく、信念に基づき実現することに努める。

平成十年基本理念

真心以

理事長 北本廣吉

平成10年基本理念

真心以

人との関係には真心を持って接し、また、私たちはご利用者、家族、地域の方々を一番に考え仕事に邁進。誠意ある心で相手の事を考える力を付けよ。

平成十一年度基本理念

地域え密着

理事長 北本廣吉

平成11年基本理念

地域え密着

「え」が重要。地域共生は社会福祉法人の基本使命です。時には下座する事もあるが、地域へご理解いただけるよう交わりを深めていく事が大切。

平成十二年基本理念

責任感の旺盛

理事長 北本廣吉

平成12年基本理念

責任感の旺盛

「言われたからする」待ち受け仕事は人格の欠乏。「やってやろう」「やらせて下さい」の一步踏み出すやる気を大切にして欲しい。そこには愛着があるはずだし、また、やるからには勉強も必要だろう。自身の意識を高揚するよう努めよ。

平成十三年基本理念

実践

一には 笑顔で

二には ご挨拶を

三には また来てね

北伸福社会
理事長 北本 廣吉

平成13年基本理念

実践 一には 笑顔で
二には ご挨拶を
三には また来てね

「また来てね」は来て頂ける環境、おもてなしの心を表す。目に見える素敵な姿勢を内心から表現できるよう努める。

平成十四年基本理念

計る

北伸福社会
理事長 北本 廣吉

平成14年基本理念

計る

数える、計算する、とあるが、各位は自己を勘案し、計画的に行動することに努め、常に他より計られて居る者であると理解すべきである。

平成十五年基本理念

福祉は文化

・研鑽に努める

北伸福社会
理事長 北本 廣吉

平成15年基本理念

福祉は文化 研鑽に努める

常に自分に挑戦しつづける気持ちを大切にし、お客様に選んでいただけるサービス提供に努める。

平成16年～20年の 実践方針

平成十六年基本理念
満
つらねる言葉を捜せ

北仲福祉会
理事長 北本廣吉

平成16年

満 つらねる言葉を捜せ

一人ひとりが考えてほしい。自分が望み、実現したいと思う「満につらねた文字」。それにむけて努力する真摯な姿勢こそ、必ずや限りない喜びを生むであろう。

平成十七年基本理念
誠の実現
お家の福祉
お隣の福祉
地域への福祉
当たり前、思いやりの行為で
なげられなければならない。
北仲福祉会
理事長 北本廣吉

平成17年

誠の実現

お家の福祉
お隣り福祉
地域へ福祉

当たり前、思いやりの行為でなければならない

福祉の原点はやさしさ。人として自然に生まれる思いやりの心が大きな輪となり、誠の幸せ社会を創る。その一助となるひとりであれ。

平成十八年基本理念
安全確認
だろう！
だろう！は、
事故のもと。
社会福祉法人北仲福祉会
理事長 北本廣吉

平成18年

安全確認

だろう
かろうは 事故のもと

ただ漫然と仕事を続けてはならない。私たちは人命に携わっているという緊張感を忘れず、地域福祉への使命を果たすことに努める。

平成十九年実践基本
春夏秋冬
食道楽に挑む
社会福祉法人北仲福祉会
理事長 北本廣吉

平成19年

春夏秋冬 食道楽に挑む

楽しんでいただくための創意工夫、喜んでいただくための真心のおもてなしこそが、ご利用者の満足と自己の充実感を実現する。常に挑む気持ちを持て。

平成二十年実践方針
笑顔に飽和
北仲福祉会
理事長 北本廣吉

平成20年

笑顔に飽和

ご利用者の笑顔、そして職員の笑顔。集いあう皆の笑顔が満ち溢れる朱鷺の苑であってほしい。そのための自己研鑽に努めよ。